

「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【群馬県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）

1 群馬県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万5,500haで、前年産並みとなった。
また、主食用作付面積は1万3,600haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が少ない、1穂当たりもみ数がやや多いことから「やや少ない」となった。

3 登熟は、出穂期以降、天候がおおむね順調に推移したことにより「やや良」が見込まれる。

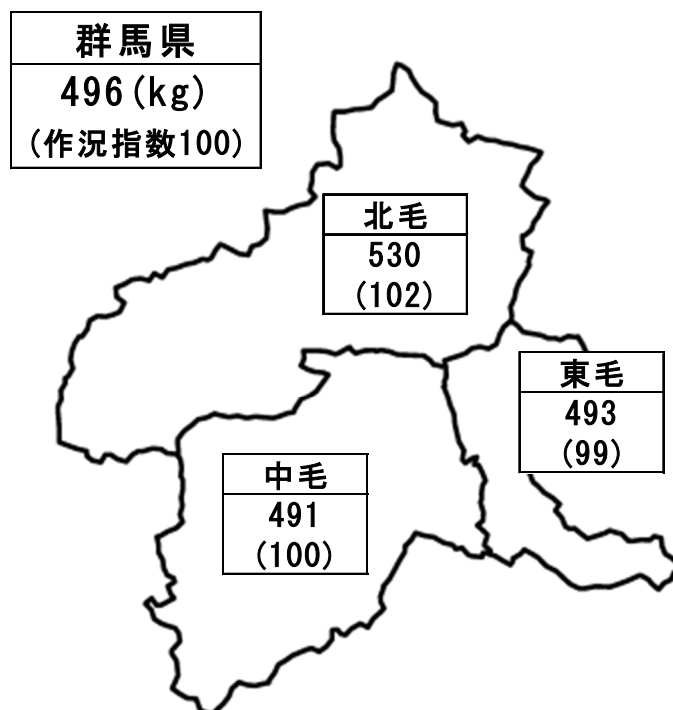
4 この結果、群馬県の10a当たり予想収量は496kgで、前年産に比べ10kgの増加が見込まれる。

また、作柄表示地帯別では、中毛で491kg（前年産に比べ10kg増加）、北毛で530kg（同21kg増加）、東毛で493kg（同8kg増加）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された群馬県の作況指数は100が見込まれ、作柄表示地帯別では、北毛で102、中毛で100、東毛で99が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は7万6,900tで、前年産に比べ1,600tの増加が見込まれる。

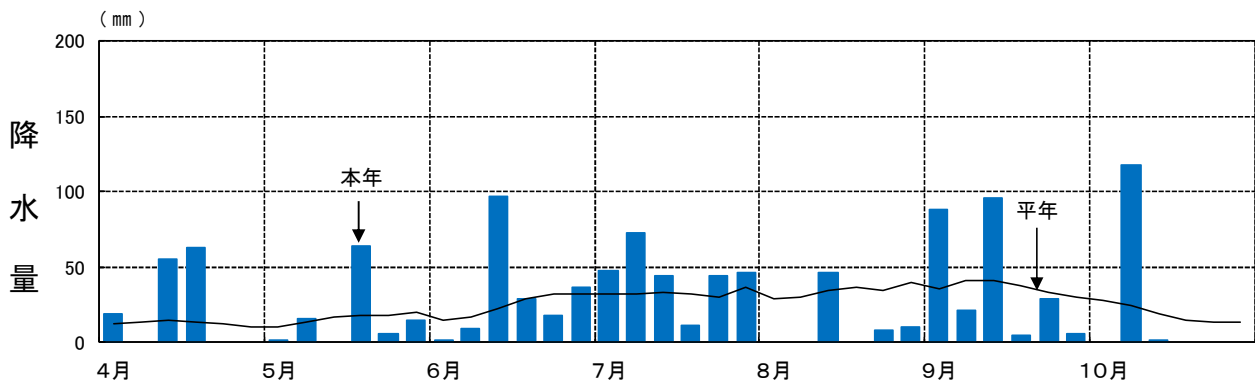
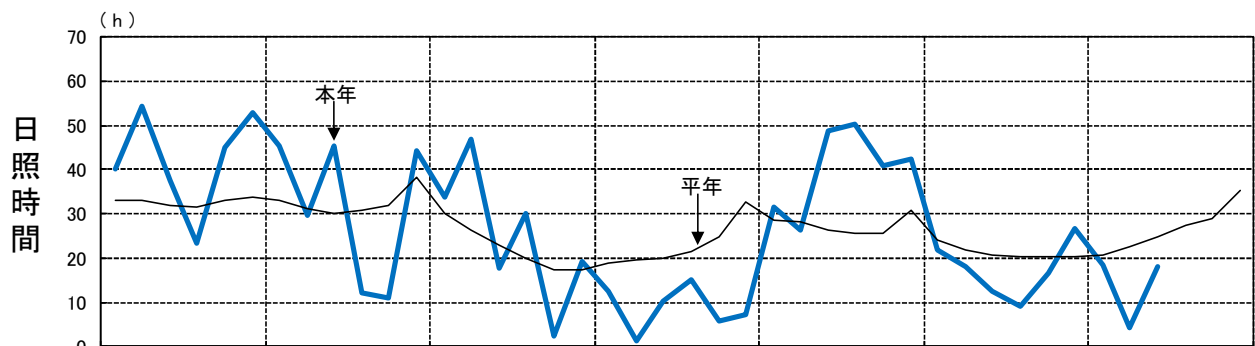
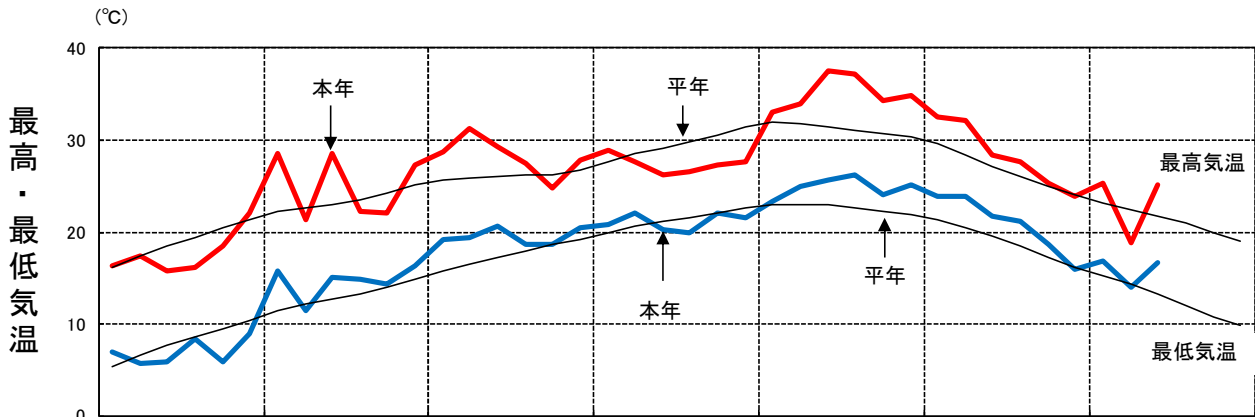
また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は6万7,500tで、前年産に比べ1,400tの増加が見込まれる。



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（前橋）



資料：気象庁



注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。

なお、（ ）内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 群馬県拠点 統計チーム
 電話：027-221-1173
 F A X：027-221-1174